



2020年6月19日

各 位

会 社 名 : サツドラホールディングス株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 富山 浩 樹
(コード:3544 東証第1部・札証)
問 合 せ 先 : 常務取締役管理担当 吉 田 俊 哉
(TEL. 011-788-5166)

特別損失の計上及び業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社グループでは、2020年5月期（2019年5月16日～2020年5月15日）において、特別損失を計上するとともに、2019年12月20日に公表した2020年5月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である株式会社サッポロドラッグストアが保有する店舗の固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の回収可能性を検討した結果、2020年5月期第4四半期連結会計期間において減損損失170百万円を計上したことにより、通期で、減損損失354百万円を計上いたしました。

2. 業績予想値と決算値との差異（2019年5月16日～2020年5月15日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	89,100	600	600	△150	△32.65
決 算 値 (B)	89,304	820	885	115	25.19
増 減 額 (B-A)	204	220	285	265	
増 減 率 (%)	0.2	36.8	47.6	—	
(参考) 前期実績 (2019年5月期)	84,649	430	448	29	6.40

3. 差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による訪日外国人の激減等によりインバウンドフォーマットは想定を下回ったものの、ドラッグストアフォーマットが堅調に推移したことから、前回発表予想を上回る結果となりました。

営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高が拡大したことに加えて、不採算店舗等の閉店、及び新規出店の見直しや人件費を含む営業費用全体の抜本的な見直しを行ったことなどから、前回発表予想を上回る結果となりました。

以 上